

エコアクション21

環境経営レポート

(レポートの対象期間：2024年9月～2025年8月)



発行日：2025年11月14日

 大和建設株式会社

- 1 環境経営方針
- 2 会社概要
- 3 実施体制
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画
- 6 環境経営目標の結果・評価
- 7 環境経営計画の実施、その評価結果及び次年度取組内容
- 8 環境関連法規の順守状況
- 9 取組状況
- 10 代表者による確認と全体評価



1. 環境経営方針

《環境理念》

大和建設株式会社は、建設工事の事業活動を通じ、美しい近隣の自然、さらには地球環境を守るための環境に配慮した工事と環境の保全に積極的に取り組む企業を目指します。

《環境指針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ① エコドライブを実践しCO₂の削減に努めます。
 - ② 排出ガス基準適合及び燃料基準達成建設機械の使用に努めます。
 - ③ 建設機械の使用にあたっては排出ガスの抑制に努めます。
 - ④ 廃棄物の削減活動と再生資源化推進の活動に取り組みます。
 - ⑤ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
 - ⑥ グリーン商品の調達活動に取り組みます。
 - ⑦ 建設現場は周辺の自然環境に配慮し、生物多様性保全に努めます。
 - ⑧ 産業廃棄物等は建設リサイクル法による適正処理をいたします。
 - ⑨ ボランティア活動等、地域貢献活動への参加に積極的に取り組みます。
 - ⑩ 環境に配慮し利害関係者とのより良いコミュニケーションを計ります。
 - ⑪ 高断熱・高气密でエネルギーの効率的な利用の住宅を提供します。
 - ⑫ 花壇コンクールに取り組み環境美化に貢献します。
 - ⑬ ゴミ袋、ストロー等の使用を禁止し、海洋汚染から海の生物を守る取り組みをします。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境管理体制を継続的に改善いたします。
3. 環境に関する法規制及び協定を遵守いたします。
4. 全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共にこの方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日 平成26年8月31日

改訂年月日 令和2年10月31日

大和建設株式会社
代表取締役 飯塚 三重子

2. 会社概要

1. 会社名 大和建設株式会社

所在地

〒412-0038

静岡県御殿場市駒門318-4

TEL 0550-87-3060

FAX 0550-87-3359

E-mail/yamato-k@cronos.ocn.ne.jp

資材置場住所 静岡県御殿場市駒門292番地の1



2. 代表者氏名 代表取締役 飯塚 三重子

3. 事業活動の内容

総合建設業

土木工事、建築工事、ほ装工事、造園工事、管工事、水道施設工事、電気工事
とび・土工工事 の設計・施工 請負、解体工事

4. 事業の規模

① 設立 昭和60年11月14日

② 事業規模

活動規模	単位	令和4年	令和5年	令和6年
売上高	百万円	607	662	790
従業員	人	20	20	20
床面積	m ²	200	200	200

5. 環境管理責任者氏名及び担当者

環境管理責任者 飯塚 千尋

事務局 杉山 達夫

部門責任者 本間 みゆき (総務・経理)

飯塚 一幸 (土木)

久保田哲生 (建築)

6. 事業年度

9月1日～翌年8月31日

7. 許可番号

特定建設業 静岡県知事許可（特一2）第021911号

土木、建築、大工、左官、管、とび・土工、石工、屋根、電気、管、鋼構造物、
鉄筋、舗装、しゅんせつ、塗装、内装仕上、造園、水道施設、解体 工事業

一級建築士事務所 静岡県知事登録（1）第7752号

下水道排水設備工事店 御殿場市 指定第252号

登録電気工事業者 静岡県知事届出 第700828号

8. 資格免許

技術士（建設部門）	1名
一級土木施工管理技士	8名
二級土木施工管理技士	3名
一級建築士	3名
二級建築士	2名
一級建築施工管理技士	2名
二級建築施工管理技士	1名
一級管工事施工管理技士	2名
二級管工事施工管理技士	1名
一級電気工事施工管理士	1名
二級建設機械施工技士	2名
一級造園施工管理技士	2名
二級建設業経理事務士	2名
無人航空機操縦技能士	1名
測量士	5名

その他必要な法定資格を有している。

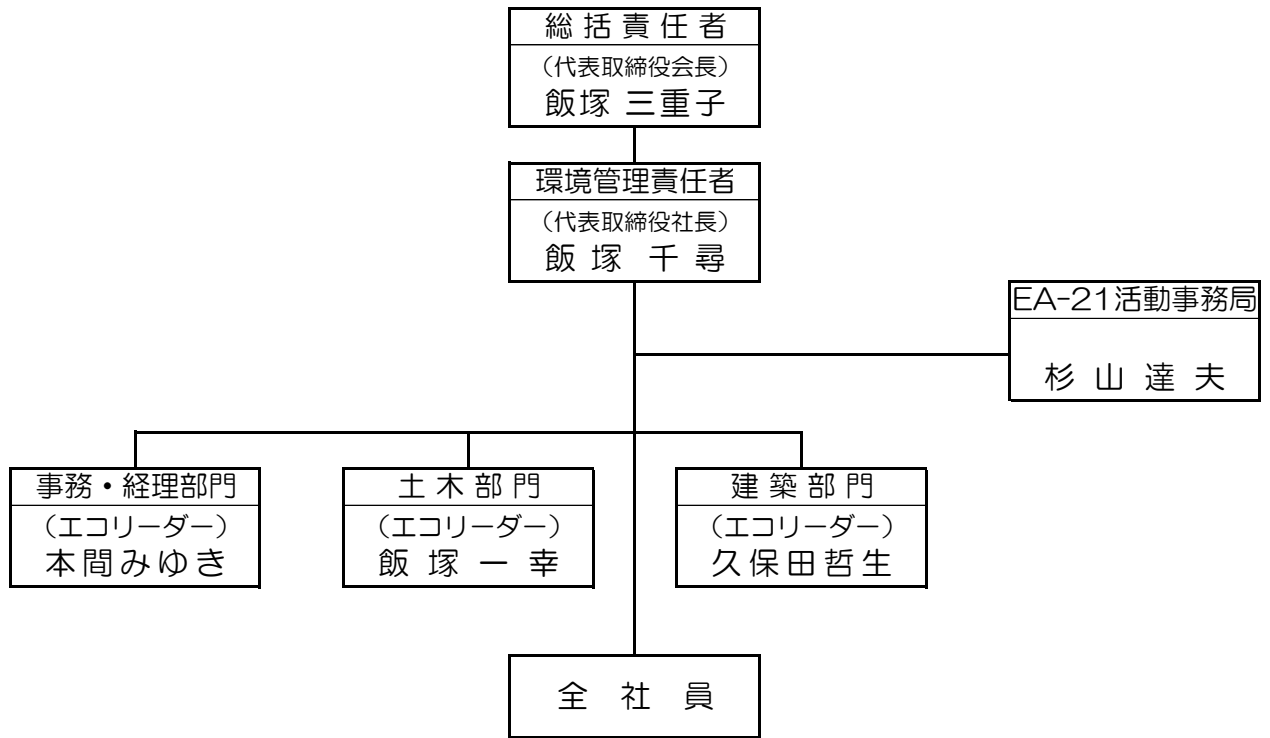
10. 資本金

2000万円

11. 取次等の対象領域

全活動・全組織

3. 実施体制



<環境管理組織における機能>

総括責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 全体の評価と見直し
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 経営の課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境目標及び環境計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

EA-21 活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 活動計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 法規制最新版管理
- ⑥ 文書・記録の管理

現場部門・営業部門・経理部門

- ① 環境計画の実施
- ② 月別部門データの集計
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

全社員

- ① 環境方針の確認と理解
- ② 各個人における環境マネジメントシステムの実施

対象範囲

全組織、全活動を対象とする

代表取締役
飯塚 三重子

環境管理責任者
飯塚 千尋

環境事務局
杉山 達夫

事務・経理部門
(本間みゆき)

土木部門
(飯塚 一幸)

建築部門
(久保田哲生)

全社員

現対象範囲

4. 環境経営目標

◎環境負荷の基準年の実績

通年(9月 1日～ 8月31日) *東京電力排出係数0.455Kg-CO₂/kWh

項目	単位	2021年	2022年	2023年 (基準年)
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	38,345	27,772	92,152
購入電力	KWh	11,057	11,635	8,417
ガソリン使用量	ℓ	8,472	7,696	7,741
灯油	ℓ	136	214	242
建設現場軽油	ℓ	5,163	1,589	27,192
総排水量	m ³	135	136	169
建設混合廃棄物	t	10.4	9.1	9.3
土木工事における創意工夫	件	7	1	16
YAMATOの家(高断熱・高気密)建設	軒	16	10	12

◎環境目標(長期)

*2023年度を基準年度とした比を示す

項目	単位	2025年	2026年	2027年
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	-20.0%	-30.0%	-40.0%
購入電力	KWh	-3.0%	-3.0%	-3.0%
ガソリン使用量	ℓ	-2.0%	-2.0%	-2.0%
灯油	ℓ	-50.0%	-60.0%	-60.0%
建設現場軽油	ℓ	-20.0%	-30.0%	-40.0%
総排水量	m ³	-1.0%	-1.0%	-1.0%
建設混合廃棄物	t	-1.0%	-1.0%	-1.0%
土木工事における創意工夫	件	5	5	5
YAMATOの家(高断熱・高気密)建設	軒	13	14	15

◎環境目標(短期1年)

*2023年度を基準年度とした比を示す

項目	単位	2023年 (基準年)	2024年	2024年 (目標値)
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	92,152	-20.0%	73,722
購入電力	KWh	8,417	-3.0%	8,164
ガソリン使用量	ℓ	7,741	-2.0%	7,586
灯油	ℓ	242	-50.0%	121
建設現場軽油	ℓ	27,192	-20.0%	21,754
総排水量	m ³	169	-1.0%	167
建設混合廃棄物	t	9.3	-1.0%	9.2
土木工事における創意工夫	件	16	-工事二件	6
YAMATOの家(高断熱・高気密)建設	軒	12		13

5. 環境経営計画

環境目標	活動内容	担当部	スケジュール																								実施頻度
			2024年				2025年								2026年												
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
二酸化炭素の排出量の削減	①不要な照明の消灯の徹底	総務部 建築部	→																								毎日実施
	②不使用時のOA機器の電源OFF		→																								毎日実施
	③エアコンの温度管理 冷房26℃ 暖房22℃		→																								使用時
	①エコドライブの徹底	土木部 建築部	→																								毎日実施
	②車両のタイヤ空気圧の点検		→																								適宜
	③計画的なルート検索		→																								適宜
	④過積載の禁止		→																								毎日実施
	⑤建設機械のアイドリング禁止		→																								使用時
⑥省エネ車の継続購入	→																								適宜		
廃棄物排出量の削減	①コピー用紙の両面活用	総務部 土木部 建築部	→																								毎日実施
	②ミスプリントの防止とメモ用紙の活用		→																								毎日実施
	③混合廃棄物の分別と適正処理		→																								適宜
	④建設リサイクルの徹底		→																								毎日実施
創意工夫	①土木工事における創意工夫	土木部	→																								適宜
YAMATOの家 (高断熱・高気密)建設	①受注に向けての営業・広報活動	建築部	→																								毎日実施
	②適切な品質管理と工程管理		→																								毎日実施
水使用量の削減	①節水の周知徹底	総務部 土木部 建築部	→																								毎日実施
	②洗車時の水量調節		→																								使用時
グリーン購入	①グリーン商品の調査・検討	総務部	→																								適宜
環境教育とその他の取組	①社内勉強会と反省会	全社員	→																								毎月1回
	②「6R県民運動」海岸清掃活動		→																								年2回実施
	③エコキャップ回収運動の推進		→																								毎日実施

→ 計画
 → 実施できた
 → 努力が必要

6. 環境経営目標の結果・評価

◎環境目標実績

* 取り組み期間(2024年 9月 ~ 2025年 8月)

項目	単位	2023年 (基準年)	2024年 (目標値)	2024年 (実績)	目標に対する 削減率%	結果
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	92,152	73,722	47,715	35.3%	○
購入電力	KWh	8,417	8,164	7,906	3.2%	○
ガソリン使用量	ℓ	7,741	7,586	7,435	2.0%	○
灯油	ℓ	242	121	10	91.7%	○
建設現場軽油	ℓ	27,192	21,754	10,549	51.5%	○
総排水量	m ³	169	167	181	+8.4%	▲
建設混合廃棄物	t	9.3	9.2	12.5	+35.9%	▲
土木工事における創意工夫	件	16	6	12		○
YAMATOの家(高断熱・高気密)建設	軒	12	13	16		○

評価について

1.二酸化炭素総排出量	工事現場における軽油の大幅な使用減により目標の達成が出来た 購入電量、ガソリン、灯油についても削減となった
2.購入電力	前年同期途中から事務所に太陽光発電を設置したので、今期は年間を通して太陽光発電が稼働していたので減少となった 照明は、休憩時間、使用していない部屋の消灯、定時の退社を心掛けた エアコンは、設定温度の表示しフィルター清掃を年4回行った
3.ガソリン使用量	現場は不要な車両は持ち込まない 運転日誌に給油時の油量と走行距離を記入し、燃費を意識する 急発進及びアイドリングストップを心掛けた 結果、僅かであるが減少することが出来た
4.灯油の使用量	工事現場での灯油の使用が大幅に減少した 事務所の暖房に灯油ストーブを使用しなかったので大幅の減となった 結果、大幅に減少することが出来た
5.現場軽油使用	ほ場整備の現場において、水替えポンプの発電機を前年同期は4カ月間昼夜運転であったが、今期は1カ月であったので大幅に削減となった
6.総排水量	節水に努めたが夏場の花壇の水やり等で目標の達成が出来なかった
7.建設混合廃棄物	資材置場の移転に伴い、資材の処分を行ったので混廃が増えた 建築現場では、木くず、石膏ボードの分別を行い混廃の減量に勧めたので削減されたが、全体として削減目標の達成が出来なかった
8.土木工事における創意工夫	創意工夫の件数は多く目標の達成出来た
9.YAMATOの家(高断熱・高気密)建設	目標軒数の13軒に対し、リホームも含め完工件数を達成出来た

7. 環境経営活動計画の実施状況、その評価結果及び次年度取組内容

目的	項目	活動項目	評価		今後の取組内容	
			評価	内容		
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底	◎	掲示→徹底されている	継続実施	
		②人感センサーの導入	◎	社員出入口に設置完了		
		③LEDの導入	◎	新社屋となり完了		
	空調	①温度設定夏26° C 冬22° C	◎	表示、朝礼時説明	継続実施	
		②クールビズ、ウォームビズ	◎	表示、朝礼時説明	継続実施	
		③フィルター定期清掃	◎	年4回(9, 12, 3, 6月)実施	継続実施	
		④使用していないエリアの空調停止	◎	徹底されている	継続実施	
		⑤遮光対策	◎	緑のカギ実施		
		⑥断熱化対策	◎	完了		
		⑦新規空調設備への代替え、及び導入	◎	完了		
	乗用車 トラック	①エコドライブ	◎	注意喚起	継続実施	
		②エコ整備	◎	省エネオイルOK	継続実施	
		③日常・定期点検の実施	◎	日常点検	継続実施	
		④省エネ車の導入	○	更施		
		⑤排ガス対応車の導入	○	更施		
		⑥荷台に負荷をかけない	○	日常的に確認	継続実施	
	重機	①アイドルストップ	◎	施工計画反映・徹底されている	継続実施	
		②省エネ重機使用	◎	施工計画反映・徹底されている	継続実施	
	廃棄物のリサイクル	事業所 排出物	①コピー用紙の両面使用	◎	裏紙使用	継続実施
			②封筒の再利用	○	社内便活用	継続実施
			③集約化売買	○		実施検討
④FAXのPDF化			○	社内便活用	継続実施	
⑤3Rの実践			◎	徹底されている	継続実施	
⑥名刺の自社製作			○	名刺作成ソフト導入	継続実施	
⑦廃棄物の分別とリサイクル			◎	分別基準と実施	継続実施	
⑧エコキャップ運動の参加			◎	置場と収集	継続実施	
⑨ビンの使用した枚数の記載			◎	実施	継続実施	
産業 廃棄物		①古紙、カービン・パレット等の分別	◎	徹底されている	継続実施	
		②排出業者への分別指導	○	分別基準作成と説明	継続実施	
		③分別ルートの新規開拓	○	新規プラスチック販売ルート	継続実施	
		④電子マニフェストの導入	◎	導入済み	継続実施	
建設混合 廃棄物の リサイクル	①廃棄物の分別化	○	分別BOX設置	継続実施		
	②排出ルート新規開発	○	プラ廃棄物メーカー新規契約	継続実施		
	③電子マニフェストの導入	◎	導入	継続実施		
	④仮設資材・用具のリユース化	○	徹底されている	継続実施		
創意工夫	土木請負 工事	①現場に適合した品質向上の工夫	◎	一現場一提案は実施された	継続実施	
		②環境に配慮した提案・作業	○	除草や清掃作業を実施	継続実施	
YAMATOの家 (高断熱・高 気密)建設	戸建住宅	①受注に向けての営業・広報活動	◎	現地見学会やホームページに掲載	継続実施	
		②適切な品質管理と工程管理	◎	完成工事が増大した	継続実施	
節水	止水	①節水表示	◎	表示OK	継続実施	
		②節水こまの取付	○	完了		
		③洗車時の節水	○	止水の確認	継続実施	
グリーン 購入	花壇	④花壇の水やりに雨水を利用	○	雨水だけでは不足した	継続実施	
		①環境ラベル対応品の購入	○	購入実施	継続実施	
グリーン 購入	事務 用品	②何回も使える物購入	○	ボールペン・ファイル他	継続実施	
		①グリーン購入対象優先使用	○	施工計画反映	継続実施	
地域 貢献	建設 資材	①花いっぱい運動	◎	花壇の整備	継続実施	
		②近隣道路清掃	◎	必要時実施	継続実施	
		③工事現場の草刈り・除雪・ 塩加散布・自販機設置	◎	必要時実施	継続実施	
		④AEDの設置	◎	事務所・現場	継続実施	
		⑤カーミラーの清掃	◎	富士岡小学校の周り	継続実施	

8. 環境関連法等の順守状況の確認及評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の順守状況

順守評価日：2025年10月30日

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	順守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約書	契約（書）の締結	○
	マニフェストの管理	電子マニフェストにて管理	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所への提示	60cm*60cm以上の看板による掲示	○
	廃棄物処理・マニフェストの年間集計と知事報告	電子マニフェストにて登録・報告	○
	多量排出業事業者の減量化計画の届出(1000t以上)	県への計画書届出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	処分業者の実地確認	建設協会にて毎年一回市内の各施設を確認	○
建設リサイクル法（元請の場合）	建設副産物リサイクル計画書	請負契約書交付（工事施工計画書）	○
	再資源化 完了報告書	実施（完了）報告書	○
御殿場市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		○
騒音・振動規制法（土木・建築工事）	指定地域での特定建設作業	特定建設業の届出	○
	指定地域での作業日、時間帯規制	規制時間、作業日の厳守	
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫等 リサイクル料金支払	該当無
PCリサイクル法	OA機器の適正処分	パソコン・モニタ等 指定業者に処分依頼	該当無
環境基本法	一般的な自主努力	事業者の一般的責務	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	該当無
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	該当無
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	○
	法定点検 11条	年1回実施	○
	保守点検の実施 7条	3ヶ月に一度実施	○
建設業法	工事業者許可と更新	許可と5年毎の更新	○
河川法・道路法・上下水道法・建築基準法	工事許可申請、工事基準の厳守	工事都度	○
JIS法	ホース-基準	ホムアルテビット・トルソ	○
フロン排出抑制法	重機・エアコンの管理点検	3ヶ月に1度点検	該当無
労働安全衛生法	熱中症予防、高所作業	熱中症対策計画 フルハーネスの使用・点検	○

2. 違反、訴訟等の有無

- ① 当社が順守すべき環境関連法規及び条例について、違反はありませんでした。
- ② 関係機関からの指導、指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

9. 取組状況

環境に配慮した取組状況

取組内容		取組状況	
二酸化炭素排出量の削減	車両のアイドリングストップ エコドライブを心がける		
	冷暖房機器の設定温度を守る 電力消費を抑える為 意義の徹底に努める		
削減	夏の暑い日差しは グリーカーテンを設置し クーラのCO ₂ の排出量を 削減する		
	ノンフットボール + LED		
ゴミの排出削減	ゴミの分別収集 北機のみすリット削減 及び両面活用		
総排水量の削減	水道水、トイレの節水		節水の表示

取組内容		取組状況	
地域活動	花壇の設置		 国道246号沿いに季節の花々を育て、地域の皆様とコミュニケーションを計っています
	AEDの設置		
	GR県民運動 カーブミラーの清掃	 プラスチックごみ清掃活動 牛臥海岸	 カーブミラー清掃 富士岡小学校周辺
社員教育	建設業に必要な資格の取得 月1回の社員教育	 建設業許可票等	 社員教育 交通事故防止の為の講習 工期厳守 工程管理 現場の安全対策 熱中症対策 X以外の講習
EC	グリーン購入	 事務用品	

10. 代表者による確認と全体評価

1. 代表者による確認と見直し

項目	確認と見直し
1 環境経営目標の実績について	二酸化炭素総排出量は目標の達成が出来た
2 環境経営計画の取組結果について	取組は全体的には出来ているが個々の取組の強化を求む

2. 代表者による内容の変更等の指示

項目	変更の必要性	変更有の場合の指示事項
1 環境経営方針	有 ・ (無)	令和2年10月に一部変更済
2 実施体制	有 ・ (無)	令和6年11月に一部変更済
3 環境関連法規の取りまとめ	有 ・ (無)	
4 環境経営目標	有 ・ (無)	令和6年10月に一部変更済
5 環境経営計画	有 ・ (無)	

3. 代表者による全体評価

エコアクション21の取り組みは15年目になりました
環境経営目標の見直しを行い、前年期を基準年としたため購入電力、ガソリン・灯油・軽油の使用量が削減され、二酸化炭素総排出量の削減目標を達成することが出来ました
建築工事は、高断熱・高気密の環境にやさしい戸建住宅(YAMATOの家)の完成軒数が年々増えております
建設混合廃棄物は、資材置場の移転に伴い整理を行い不要となった資材を処分したので増となりました
建築現場では、木くず、石膏ボードの分別に取り組んでいるので減少しています
今後も環境理念、環境に配慮した工事と環境の保全に社員一丸となって取り組みます
海岸のプラスチックごみの清掃活動、四季折々の花壇による美化活動を通じて交流の輪を広げ、地域に貢献してまいりたいと思います

2025年 10月31日

大和建設株式会社

代表取締役 飯塚 三重子